

熊本の新しいデータベース

熊本データベースin熊本テクノプラザ

現代は「情報化時代」といわれます。しかし現実には、情報量が多過ぎて必要な情報が適切に選べない、それが本当なかわからない……、といった声をよく耳にします。そして、疑問を持ったとき、「一体どこに尋ねればよいのか」と、迷っている人も多いのではないのでしょうか。

十月一日、熊本市の中心部、花畑町にオープンしたインターネットビル「熊本テクノプラザ」。全国で初めての公有地信託契約で建てられたビルです。高度技術を駆使したこのビルの一画で、「熊本データベース」が開始しました。例えば買物ついでに、例えば勤め帰りに、気軽に寄れて必要な情報が得られる熊本データベースは、熊本の新しい情報発信拠点です。

スタッフは全て女性、必要な情報をリアルタイムに

ピンク、アイボリー、グレーとカラフルなタイルのモダンな外観。宇宙をイメージしたオブジェの飾られた吹き抜けの階段を登っていくと、ガラス張りの美しい部屋にたどり着きます。熊本テクノプラザ二階。ここに熊本データベースポットがあります。データベース

トは、運営を民間企業に委託し、スタッフは全て女性。カウンターに申し出ると、コンピュータに蓄積された膨大な情報の中から必要な情報を引き出し、その場で手渡ししてくれます。

行政情報の提供

行政の各セクションで行われている様々な行政サービスが有効に活用されるためには、県民の皆さんに、そのし

実務に役立つ情報の提供

くみや内容を理解していただくことが必要です。そこでデータベースでは、熊本県の行政情報の手引きとして刊行されている「県民便利帳」をより利用しやすいシステム化。有益な情報を、できるだけわかりやすい形で提供できるようになっています。申請や手続きの方法がわからないとき、施設等を利用したいとき、相談の窓口を知りたいとき、熊本データベースは、県民の生活の力強い味方になってくれます。

データベースは、地元の企業・人材データ情報「TKIND」や日本最大の商用データベース「日経レコング」の代行検索のサービスを行っています。また、熊本県が全国に先駆けて行ったUターンアドバイザー制度によるUターン希望者の情報「人材データバンク」、観光、レジャー情報などバラエティーに富んだ情報も満載。情報を幅広く選択し、気軽に利用できます。更に県立

図書館情報や県統計データバンクなども、提供に向け準備が進められています。

コミュニティ施設の提供

データベースには、コミュニティ施設「テクノプラザホール」も完備

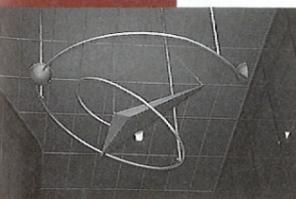
クノポリス財団の人材育成のための講座「テクノ大学」や、ニューメディアを活用し生涯教育、企業人教育を行う「フアインズ計画」など、人材育成のための様々な事業のメイン会場となっています。また、交通の便のよい会議場として、一般の方々も利用できます。

「熊本の中心地にありますから、行政情報などは、わざわざ県庁まで出向いていくという手間が省けますよね。その他、どんな情報でも気軽に相談していただく」と、迅速かつ的確に提供できるのが「熊本データベース」です。ここでは、電話での問い合わせにも応じますし、行政ビデオや行政資料・書籍の閲覧などが自由にできるスペースも用意しています。フレキシブルな対応で皆様のお越しをお待ちしています。」とは、所長の池田さん。

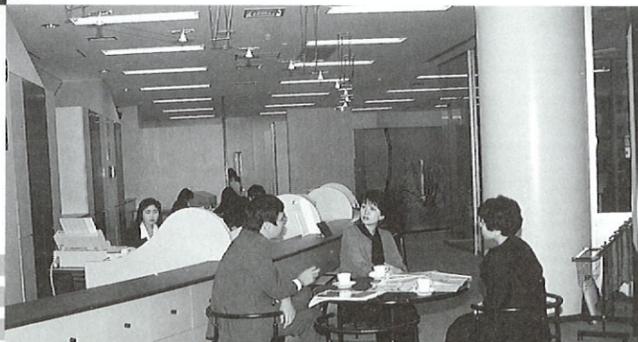
熊本県では、「世界に開かれた技術・情報都市づくり」を進行中。テレトピア構想、ニューメディア・コミュニティ構想などにも積極的に取り組んでいます。熊本テクノプラザは、その構想推進のための中核的役割を果たすもので、とりわけ熊本データベースには、県民の皆さんの情報窓口として大きな期待が寄せられています。

熊本データベース

〒860 熊本市花畑町12-32
熊本テクノプラザビル
099-932-0030



▲ 壮大な宇宙をイメージした空間



▶ コミュニティ施設「テクノプラザホール」での会議風景

